

吉田一区民による「正光寺」奉仕作業

8月7日(日)恒例となっている正光寺の清掃奉仕作業が実施された。

川邊区長の呼びかけに開始時刻の午前7時には40名程の人が集まった。

年齢は60～70歳代が中心だろうか、80歳代の人も数名おられる。作業は境内の草むしり、刈払機での除草作業、生垣の剪定と年齢に応じた仕事がある。

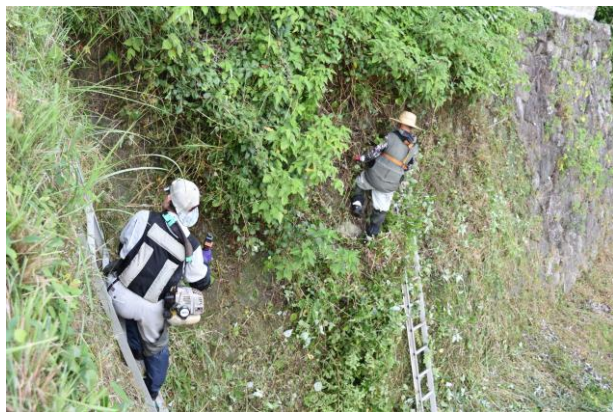
作業中のあまり見かけない70歳代後半と思われる男性に声をかけてみた。

「お疲れ様です吉田の方ですか」と尋ねると「今は吉田に住んでいます。墓はここではありませんが回覧で見て参加しました」とのこと、他の区から移り住まれ吉田一区に馴染まれているのが嬉しい。

作業で大変なのが高さ7～8m、幅100mはあろうかと思われる石垣の除草作業。梯子を掛けて刈払機を器用に操り生い茂った雑草を刈っていく、まさに職人技だ。

お寺の住職も除草作業に加えて飲み物を冷やしたりして汗だくになっておられた。

今年の清掃作業は例年以上の暑さで大変と思われたが、綺麗になった境内を眺めみんなの顔はやりきった満足感で溢れていた。



久振だより

人口2527人
1353世帯
-第172号-
発行
久玉地区振興会
発行日
令和4年9月1日



くたま市民学級のお知らせ

～介護サービスについて～

日時：9月14日(水) 午前10時～

場所：久玉地区コミュニティセンター

講師：牛深地域包括支援センター

すいせん 職員

吉田一区除草作業

吉田一区では、熊本県天草広域連合本部・天草街道おもてなし一斉除草の呼びかけを受け、吉田老人会(吉寿会)を中心に、国道・牛深高校前を中心に花いっぱい運動広場等の除草作業を実施しました。

当初7月16日の予定ではありましたが、当日は大雨警報が発令されたため、翌日の7月17日(日曜日)午前7時より作業開始。

特に牛深高校前の歩道の雑草は草丈が伸び、牛深町天附地区で飼育されているジャージー牛の餌用に利用できないか連絡したところ、ゴミもなく最良の草とのことで、軽トラック2台で持って帰られ、感謝されました。他の雑草については、天満宮の畑に持ち込んで、後日焼却することになりました。

作業終了9時30分、参加者20名で事故もなく周辺がきれいになり、皆さん喜んで帰宅されました。又、近隣の方よりお茶の差し入れ等がありました。感謝申し上げます。

吉田一区長 川邊栄喜



ふれあい広場に竹灯籠(迎え火)の設置

今年の「久玉ふるさと夏祭り」は新型コロナウイルス感染防止のため中止としました。

7月中旬まではやる気でいましたが、全国的に感染者が増え天草地区においても例外でなく、特に子供達が多いようなので、もしもの事を考えやむなく中止することになりました。

何かできることはないのかと考えたら、浄土宗では盆の13~15日に家ごとに迎え火として灯籠を飾る風習があるということ。そこで「ふれあい広場」にも竹灯籠を設置したらどうだろうかとの相談し、振興会有志で13~15日に明かりを灯しました。

以前はろうそくの明かりだったのを、今回LEDのイルミネーションにしてみたら、煌びやかな美しさがありました。ろうそくのやわらかく優しい光と比較することはできませんが、ひとつひとつ明かりを灯す煩わしさと風で消される心配はありません。今回は試験的に行いましたので広報はしませんでした。来年の夏祭りでは是非披露したいと思います。

